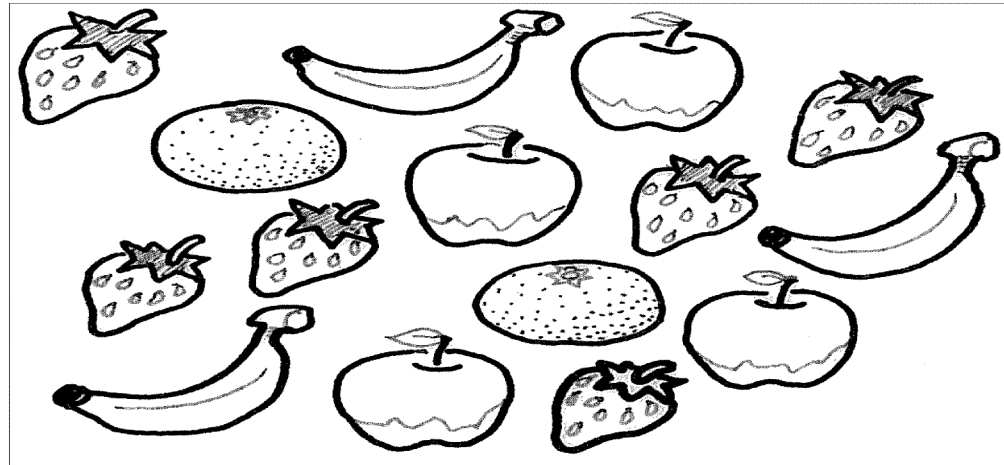


小学校第2学年 単元別たしかめテスト1

单元名〔ひょう・グラフと時計（啓林館）〕〔ひょうとグラフ（東京書籍）〕	①② (/ 2) 技能	③～⑥ (/ 4) 考え方	得 点 (/ 6)
2年 () 組 () 番 名前 ()			

○ つぎの くだものの 数を しらべます。



① くだものの かずを ひょうに かきましょう。

くだもの	バナナ	いちご	みかん	りんご
か　　ず	3　本	こ	こ	こ

② ○をつかって 右のグラフの
つづきを かきましょう。

○			
○			
○			
バナナ	いちご	みかん	りんご

[①② 技能]

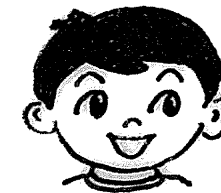
○ クラスで いちばん すきな スポーツを しらべて グラフに かきました。

③ すきなひとが いちばんおおい スポーツは
 为什么呢。

--

④ まさおさんが いうことは 正しいです
か。 どちらかに ○を つけましょう。

(正しい ・ 正しくない)



やきゅうと サッカーの
すきな人を あわせると
クラスの はんぶんを
こえているよ。

まさお

⑤ のりこさんが いうことは 正しいです
か。どちらかに ○を つけましょう。

(正しい ・ 正しくない)



のりこ

やきゅうが すきな人
は サッカーが すき
な人より 2人おおい
よ。

⑥ ⑤で こたえた わけを しきや ことばを つかって かきましょう。

--

[③~⑥ 考え方]

小学校第2学年 単元別たしかめテスト1 出題のねらい及び解答例，評価の観点，目標正答率一覧

単 元 名		〔1 ひょう・グラフと時計（啓林館P6～P9）〕 〔1 ひょうとグラフ（東京書籍P4～P6）〕							
〈学習指導要領〉 D 数量関係		(3) 身の回りにある数量を分類整理し，簡単な表やグラフを用いて表したり読み取ったりすることができるようにする。							
問題 番号	出 題 の ね ら い	解 答 例	評価の観点			問題形式			目標 正答率
			考 え 方	技 能	知 識 ・ 理 解	選 択 式	短 答 式	記 述 式	
①	果物の数を調べて，表に表すことができる。	いちご：6 みかん：2 りんご：4		○			○		90%
②	表をもとに，果物の数を○グラフにかくことができる。	○○○○○いちご ○○ みかん ○○○○ りんご		○			○		90%
③	○グラフから，一番多くの人が好きなスポーツを読み取ることができる。	野球	○				○		90%
④	○グラフをもとに，まさおさんの発言内容の正誤を判断することができる。	正しい	○				○		80%
⑤	○グラフをもとに，のりこさんの発言内容の正誤を判断することができる。	正しくない	○				○		80%
⑥	グラフから読み取ったことをもとに，のりこさんの発言内容が間違いである理由を式や言葉を使って説明することができる。	・野球を好きな人は14人で，サッカーを好きな人は9人で，違いは14－9で5人だから正しくない。 ・○の違いが5つなので正しくない。 ※⑤が正解の場合のみ，⑥の正解が成立。	○					○	70%
合 計 6 問			4	2	0	2	3	1	83%

小学校第2学年
 単元別たしかめテスト
 2

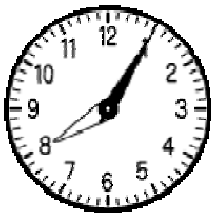
単元名 〔ひょう・グラフと時計（啓林館）〕〔時こくと時間（東京書籍）〕	①～③ (/ 3) 知識・理解	④～⑥ (/ 3) 技能	⑦⑧ (/ 2) 考え方	得 点 (/ 8)
2年 () 組 () 番 名前 ()				

○
 □
 の 中 に あてはまる 数 を 入 れ ま し ょ う。

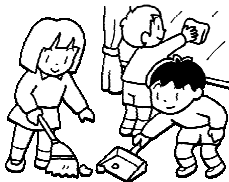
① 1時間 は □ 分 で 1日 は □ 時間 です。

○ つぎの 時こく を 午前 午後 を つけて こたえ ま し ょ う。

② 学校へ あさ しゅっぱつした 時こく



③ 学校で ひる に そうじ を はじめた 時こく



[①～③ 知識・理解]

○ つぎの もんだい に こたえ ま し ょ う。

④ いえ から スーパーマーケット に つく ま で に かか っ た 時間 は 何 分 で し ょ う。



いえ を 出 た 時こく



スーパーマーケット に つい た 時こく



○ いま 2時50分 です。 つぎの ⑤ ⑥ の時こく を こたえ ま し ょ う。



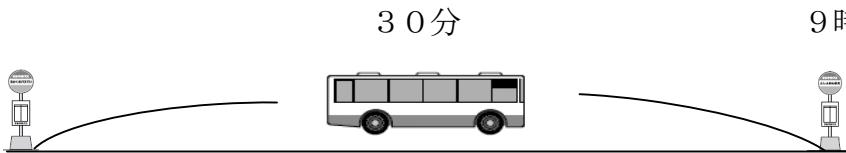
⑤ 1時間 た っ た 時こく

⑥ 40分 ま え の 時こく

[④～⑥ 技能]

○ ひろしさんは バス に の っ て としょかん に 行 きます。
 としょかんまへの バス て い で た だ し さん と 9時 に あ う や く そ く を し て い ま す。

⑦ バス に の っ て い る 時間 は 30分 です。 9時 に た だ し さん に あ う た め に は
 ど の 時こく の バス に の れ ば よ い で し ょ う。 あてはまる バス て い の 時こく の
 きごう を ぜんぶ か き ま し ょ う。



ひろしさんの いえ の ちかく の バス て い

としょかんまへの バス て い

- バス て い の 時こく
- (ア) 8時15分
 (イ) 8時25分
 (ウ) 8時35分
 (エ) 8時45分

⑧ ⑦ で こたえた わけ を か き ま し ょ う。

[⑦⑧ 考え方]

小学校第2学年 単元別たしかめテスト2 出題のねらい及び解答例，評価の観点，目標正答率一覧

単 元 名		〔1 ひょう・グラフと時計（啓林館 P10～P13）〕〔7 時こくと時間（東京書籍 P74～P77）〕							
〈学習指導要領〉 B 量と測定		（3）時間について理解し、それを用いることができるようにする。 ア 日、時、分について知り、それらの関係を理解すること。							
問題 番号	出 題 の ね ら い	解 答 例	評価の観点			問題形式			目 標 正 答 率
			考 え 方	技 能	知 識 ・ 理 解	選 択 式	短 答 式	記 述 式	
①	時間と分の関係、日と時間の関係を理解している。	6 0 2 4			○		○		90%
②	時計の長針と短針の動きを理解し、午前・午後を使った時刻のよみかたを理解している。	午前8時5分			○		○		90%
③	時計の長針と短針の動きを理解し、午前・午後を使った時刻のよみかたを理解している。	午後1時18分			○		○		90%
④	2つの時刻の間の時間を求めることができる。	15分		○			○		80%
⑤	ある時刻から1時間後の時刻を求めることができる。	3時50分		○			○		80%
⑥	ある時刻から30分前の時刻を求めることができる。	2時30分		○			○		80%
⑦	ある時刻から一定時間前の時刻を考えることができる。	ア イ	○			○			70%
⑧	ある時刻から一定時間前の時刻を求める考え方を説明することができる。	9時の30分前は8時30分。8時30分までに、 発車するバスの時こくは、8時15分と8時25分	○					○	70%
合 計 8 問			2	3	3	1	6	1	81%

小学校第2学年
 単元別たしかめテスト
 3

単元名〔たし算とひき算（啓林館）〕〔計算のくふう（東京書籍）〕	①② (/ 2) 知識・理解	③～⑥ (/ 4) 技能	⑦～⑩ (/ 4) 考え方	得点 (/ 10)
2年 () 組 () 番 名前 ()				

○ () に あてはまる 数 を 入れましょう。

① 30 + 40 の けいさんの しかた



30は 10が () こ。 40は 10が () こ。
 10は あわせて () こ。
 だから こたえは () 。

② 17 + 5 の けいさんの しかた

17に () を たして () 。
 () と 2で () 。

$$\begin{array}{r}
 17 + 5 \\
 \diagup \quad \diagdown \\
 3 \quad 2
 \end{array}$$

〔①②知識・理解〕

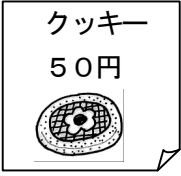
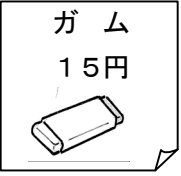
○ つぎの けいさんを しましょう。

③ 29 + 4 = ④ 83 - 7 =

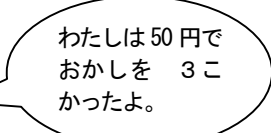
⑤ 20 + 70 = ⑥ 85 - 50 =

〔③～⑥技能〕

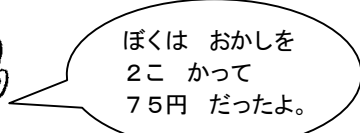
○ おかしを かい に いきました。



ようこ



みつお



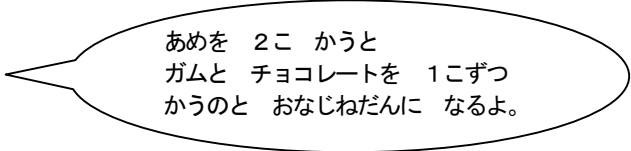
⑦ みつおさんが かった おかしを かきましょう。 ()

⑧ ようこさんは どのような かいかたを したのでしょ。

⑨ たかさんの いっていることは 正しいですか。どちらかに ○を つけ しょう。 (正しい ・ 正しくない)



たかし



⑩ ⑨で こたえた わけを しきや ことばで かきましょう。

〔⑦～⑩考え方〕

小学校第2学年 単元別たしかめテスト3 出題のねらい及び解答例，評価の観点，目標正答率一覧

単 元 名		〔2 たし算とひき算（啓林館P20～P28）〕 〔8 計算のくふう（東京書籍P79～82）〕							
〈学習指導要領〉		(2)加法及び減法についての理解を深め，それらを用いる能力を伸ばす。							
A 数と計算		ア 2位数の加法及びその逆の減法の計算の仕方を考え，それらの計算が1位数などについての基本的な計算を基にしてできることを理解し，それらの計算が確実にできること。また，それらの筆算の仕方について理解すること。							
問題番号	出 題 の ね ら い	解 答 例	評価の観点			問題形式			目標正答率
			考え方	技能	知識・理解	選択式	短答式	記述式	
①	30 + 40の計算の仕方を理解している。	3 4 7 70			○		○		75%
②	17 + 5の計算の仕方を理解している。	3 20 20 22			○		○		75%
③	29 + 4の計算が確実にできる。	33		○			○		90%
④	83 - 7の計算が確実にできる。	76		○			○		90%
⑤	20 + 70の計算が確実にできる。	90		○			○		90%
⑥	85 - 50の計算が確実にできる。	35		○			○		90%
⑦	問題の条件に合う品物（25 + 50）を考えることができる。	チョコレートとクッキー	○			○			90%
⑧	問題の条件に合う3つの品物（15 + 15 + 20）を考えることができる。	ガム2こ と あめ1こ	○				○		75%
⑨	たかさんの発言内容の正誤を判断することができる。	正しい	○			○			80%
⑩	問題の条件に合う買い方の代金を求めることで，⑨で答えた理由を説明することができる。	あめを2こかうと20 + 20で 40，ガムとチョコレートを1こずつかうと，15 + 25で40，だから正しい。	○					○	70%
合 計 10 問			4	4	2	2	7	1	83%

小学校第2学年 単元別たしかめテスト4

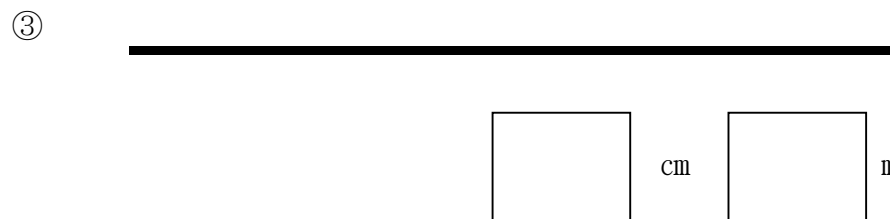
単元名〔長さ（啓林館）〕〔長さのたんい（東京書籍）〕		① (/ 2) 知識・理解	③～⑥ (/ 4) 技能	⑦～⑨ (/ 3) 考え方	得点 (/ 9)
2年	()組 ()番	名前 ()			

○ に あてはまる数を かきましょう。

① 1 cm = mm ② 20 mm = cm

〔①②知識・理解〕

○ つぎの ^{ちよくせん}直線の 長さを はかりましょう。



○ つぎの 長さの ^{ちよくせん}直線を かきましょう。

④ 6 cm 5 mm

○ つぎの ^{けいさん}計算を しましょう。

⑤ 7 cm 6 mm + 4 mm =

⑥ 5 cm 2 mm - 3 mm =

〔③～⑥技能〕

○ に あてはまる きごうや ことばや 数を入 入れましょう。

⑦ つぎの 長さを 長いじゆんに きごうを かきましょう。

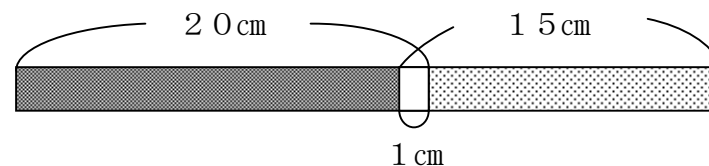
① 1 cm 8 mm ② 25 mm ③ 3 cm ④ 10 mm

⑧ 11 cm 3 mmの えんぴつと 9 cmの 赤えんぴつとでは どちらが どれだけ 長いでしょう。

しき

こたえ の方が だけ 長い

⑨ 青いテープと 赤いテープを のりで 1 cm かさねて はりました。そのテープの 長さを もとめましょう。



もとめかたを しきや ことばで かきましょう。

こたえ

〔⑦～⑨考え方〕

小学校第2学年 単元別たしかめテスト4 出題のねらい及び解答例，評価の観点，目標正答率一覧

単 元 名		〔 3 長さ（啓林館P30～P41） 〕 〔 4 長さのたんい（東京書籍P34～P46） 〕							
〈学習指導要領〉 B 量と測定		(1) 長さについて単位と測定の意味を理解し、長さの測定ができるようにする。 ア 長さの単位（ミリメートル（mm），センチメートル（cm），メートル（m））について知ること。							
問題 番号	出 題 の ね ら い	解 答 例	評価の観点			問題形式			目 標 正 答 率
			考 え 方	技 能	知 識 ・ 理 解	選 択 式	短 答 式	記 述 式	
①	1 c m＝1 0 mmの関係を理解している。	10			○		○		90%
②	基本的な単位の換算を理解している。	2			○		○		90%
③	ものさしを使って、直線の長さをはかることができる。	実測値省略（誤差± 1 mmまで許容）		○			○		90%
④	ものさしを使って、6 c m5 mmの長さの直線にかくことができる。	省略（誤差± 1 mmまで許容）		○			○		80%
⑤	長さの和を求めることができる。	8 c m		○			○		80%
⑥	長さの差を求めることができる。	4 c m9 mm		○			○		80%
⑦	単位の換算を使って、長い順に並べることができる。	う→い→あ→え	○			○			80%
⑧	減法の計算式を使って、長さの差を考えることができる。	1 1 c m 3 mm－9 c m＝2 c m 3 mm えんぴつ 2 c m 3 mm	○				○		80%
⑨	問題文から、のりしろを考えてテープの長さを正しく求めることを式や言葉等で、説明することができる。	2 0 c m＋1 5 c m＝3 5 c m 3 5 c m－1 c m＝3 4 c m 2 0 c mと1 5 c mをつないで、のりしろの1 c m をひけばよい。 ことえ 3 4 c m （※式のみでも可）	○					○	70%
合 計 9 問			3	4	2	1	7	1	82%

小学校第2学年
 単元別たしかめテスト
 5

単元名〔たし算とひき算のひっ算(1) (啓林館)〕〔たし算のひっ算・ひき算のひっ算 (東京書籍)〕	①② (/ 2)	③～⑥ (/ 4)	⑦～⑨ (/ 3)	得 点 (/ 9)
2 年 () 組 () 番 名前 ()	知識・理解	技能	考え方	

○ () に あてはまる数を 入れましょう。

① 3 7 + 2 8 の ひっ算をします。

$$\begin{array}{r} 37 \\ + 28 \\ \hline \end{array}$$

一のくらの計算は

$$7 + 8 = 15$$

一のくらいに

5 をかきます。

十のくらいに

() くり上げます。

十のくらの計算は

$$() + 3 + 2 = ()$$

だから

$$37 + 28 = 65$$

② 7 5 - 4 9 の ひっ算をします。

$$\begin{array}{r} 75 \\ - 49 \\ \hline \end{array}$$

一のくらの計算は

5 から 9 はひけないので
十のくらいから

() くり下げます。

$$() - 9 = 6$$

十のくらの計算は

$$() - 4 = 2$$

だから

$$75 - 49 = 26$$

〔①②知識・理解〕

○ つぎの計算を ひっ算でしましょう。

③ 6 + 3 2

④ 3 9 + 3 5

⑤ 5 4 - 2 4

⑥ 4 0 - 3 7

〔③～⑥技能〕

○ 2 年生で 一番すきな きゅうしょくの こんだてを しらべました。

<一番すきな きゅうしょくの こんだてしらべ>

こんだて	からあげ	カレー	ラーメン	ハンバーグ
人 数	1 5	2 4	2 1	1 8

つぎの もんだいを ひっ算で計算して こたえましょう。

⑦ カレーが一番すきな人と ハンバーグが一番すきな人を あわせると なん人でしょう。

しき

こたえ

⑧ すきな人が 一番多かった こんだてと 一番少なかった こんだての 人数の ちがいは なん人でしょう。

しき

こたえ

⑨ ㊸ の計算をするのに たろうさんは もっとかんたんに 計算できないかと かんがえて

㊹ のように しました。たろうさんの かんがえかたを つかって 次の計算をしましょう。

$$\begin{array}{r} \textcircled{\text{あ}} \quad 75 \\ - 49 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} \textcircled{\text{い}} \quad 75 \\ - 50 \\ \hline 25 \\ 1 \text{ 多くひいたので} \\ 25 + 1 = 26 \\ \text{こたえ } 26 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 83 \\ - 49 \\ \hline \end{array}$$

〔⑦～⑨考え方〕

小学校第2学年 単元別たしかめテスト5 出題のねらい及び解答例，評価の観点，目標正答率一覧

単 元 名		〔 4 たし算とひき算のひっ算(1) (啓林館P44～P57) 〕 〔 2 ・ 3 たし算のひっ算・ひき算のひっ算 (東京書籍P9～19・21～P31) 〕							
〈学習指導要領〉		(2) 加法及び減法についての理解を深め，それらを用いる能力を伸ばす。							
A 数と計算		ア 2位数の加法及びその逆の減法の計算の仕方を考え，それらの計算が1位数などについての基本的な計算を基にしてできることを理解し，それらの計算が確実にできること。また，それらの筆算の仕方について理解すること。							
問題番号	出 題 の ね ら い	解 答 例	評価の観点			問題形式			目標正答率
			考え方	技能	知識・理解	選択式	短答式	記述式	
①	37＋18の筆算の仕方を理解している。	1, 1, 6			○		○		80%
②	75－49の筆算の仕方を理解している。	1, 15, 6			○		○		80%
③	1位数と2位数で，繰り上がりなしの加法の筆算ができる。	38		○			○		90%
④	繰り上がりのある加法の筆算ができる。	74		○			○		80%
⑤	繰り下がりのない減法の筆算ができる。	30		○			○		90%
⑥	繰り下がりある減法の筆算ができる。	3		○			○		80%
⑦	表をもとに立式し，筆算を使って人数を求めることができる。	$\begin{array}{r} 24 + 18 = 42 \\ 42 \text{人} \end{array}$	○				○		75%
⑧	条件に合う数値を表から読み取って立式し，筆算を使って人数を求めることができる。	$\begin{array}{r} 24 - 15 = 9 \\ 9 \text{人} \end{array}$	○				○		75%
⑨	減法の筆算の計算において，1多く引いたので後から1たすという考え方を使って，答えを導くことができる。	$\begin{array}{r} 83 - 50 = 33 \\ 33 + 1 = 34 \end{array}$ 1引きすぎたので	○					○	70%
合 計 9 問			3	4	2	0	8	1	81%

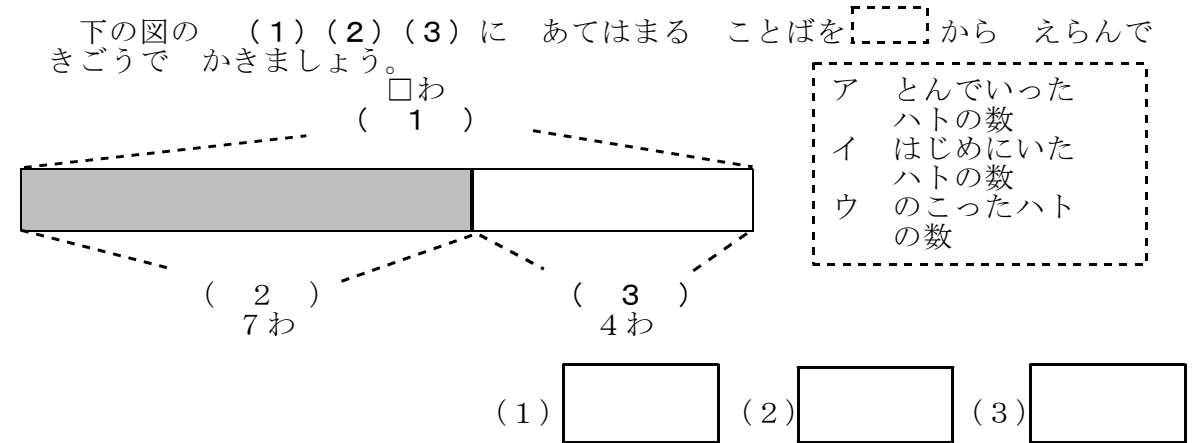
小学校第 2 学年
 単元別 たしかめテスト
 6

単元名〔かくれた数はいくつ（啓林館）〕 〔たし算とひき算（東京書籍）〕		
2 年（ ）組（ ）番	名前（ ）	

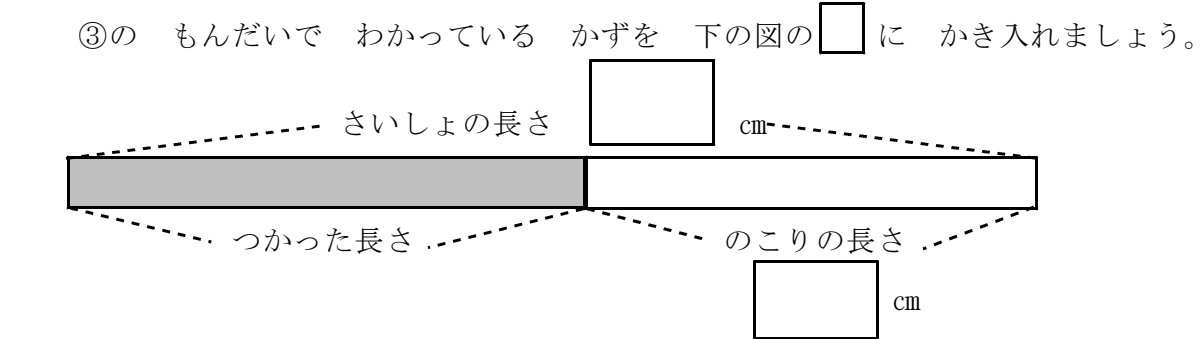
- つぎの もんだいに こたえましょう。
- ① たし算の しきになる もんだいを つぎの（ア）～（ウ）の中から えらんで きごうで こたえましょう。
- （ア） 赤いチューリップと 白いチューリップが あわせて 1 4 本 あります。 白いチューリップは 6 本です。 赤いチューリップは 何本でしょう。
- （イ） あめを 6 こ たべたので のこりは 1 4 こに なりました。はじめに あめは なんこ あったでしょう。
- （ウ） いちごが 1 4 こありました。 なんこか たべたら 6 こに なりました。 なんこ たべたでしょう。

〔①知識・理解〕

- つぎの もんだいに こたえましょう。
- ② ハトが こうえんに います。 そのうち 4 わ とんで いったので 7 わに なりました。 はじめに ハトは なんわ いたのでしょうか。



- つぎの もんだいに こたえましょう。
- ③ 3 5 cm の リボンが あります。 なんcm か つかったので のこりが 1 5 cm に なりました。 つかった リボンは なんcm でしょう。



〔②③技能〕

① （ / 1 ） 知識・理解	②③ （ / 2 ） 技能	④～⑥ （ / 3 ） 考え方	得 点 （ / 6 ）
--------------------------	------------------------	--------------------------	-------------------

- ④ つかった リボンの 長さを もとめましょう。
- しき

こたえ

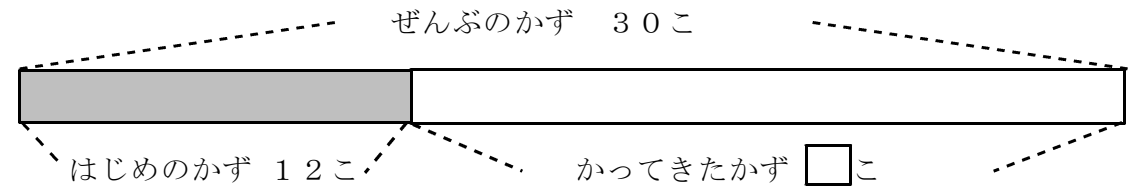
- つぎの もんだいに こたえましょう。
- ⑤ 子どもが こうえんで あそんでいます。 あと 8 人くると 4 0 人に なります。 今 なん人 いるでしょう。（下の図を もとに かんがえても かまいません。）



しき

こたえ

- ⑥ 下の図を 見て もんだいを つくりましょう。



〔④～⑥ 考え方〕

小学校第2学年 単元別たしかめテスト6 出題のねらい及び解答例，評価の観点，目標正答率一覧

単 元 名		〔かくれた数はいくつ（啓林館P58～61）〕〔15 たし算とひき算（東京書籍下P72～P81）〕							
〈学習指導要領〉 A 数と計算		(2) 加法及び減法についての理解を深め，それらを用いる能力を伸ばす。 ア 2位数の加法及びその逆の減法の計算の仕方を考え，それらの計算が1位数などについての基本的な計算を基にして できることを理解し，それらの計算が確実にできること。また，それらの筆算の仕方について理解すること。 ウ 加法及び減法に関して成り立つ性質を調べ，それを計算の仕方を考えたり計算の確かめをしたりすることに生かすこと。							
問題 番号	出 題 の ね ら い	解 答 例	評価の観点			問題形式			目 標 正 答 率
			考 え 方	技 能	知 識 ・ 理 解	選 択 式	短 答 式	記 述 式	
①	文章題から加法が用いられる場合がわかる。	イ			○	○			80 %
②	問題文をもとにしたテープ図にあてはまる言葉がわかる。	(1) イ (2) ウ (3) ア		○		○			80 %
③	問題文をもとにしたテープ図に適切な数を書くことができる。	さいしょの長さ 3 5 のこりの長さ 1 5		○			○		80 %
④	テープ図をもとに立式し，答えを考えることができる。	3 5－1 5＝2 0 2 0 cm	○				○		80 %
⑤	テープ図をもとに立式し，答えを考えることができる。	4 0－8＝3 2 3 2 人	○				○		80 %
⑥	テープ図に合う問題文を考えることができる。	(例) みかんがさいしょ12こありました。 おかあさんがみかんを何か，かってきたので，ぜんぶで30こになりました。 おかあさんはみかんを何かかってきたでしょう。	○					○	75 %
合 計 6 問			3	2	1	2	3	1	79 %

小学校第2学年
 単元別たしかめテスト
 7

単元名 [1000 までの数 (啓林館)] [3けたの数 (東京書籍)]	①～③	④～⑦	⑧⑨	得点
	(/ 3)	(/ 4)	(/ 2)	(/ 9)
2年 () 組 () 番 名前 ()	知識・理解	技能	考え方	

○ □に あてはまる 数を 入れましょう。

① 100を 10こ あつめた数は です。

② 635は 100を こ 10を こ
 1を こ あわせた数です。

③ 250は 10を こ あつめた数です。
 〔①～③知識・理解〕

○ □に あてはまる > < を 入れましょう。

④ 790 709

○ つぎの 数を 数字で かきましょう。

⑤ 四百八十三

○ つぎの 計算を しましょう。

⑥ 80 + 50 =

⑦ 120 - 90 =

〔④～⑦技能〕

○ つぎの といに こたえましょう。

⑧ 534と 527の どちらが 大きいでしょう。つぎの
 ()に あてはまる 数や ことばを かきましょう。

まず ()のくらいを くらべます。
 5と 5で 同じです。
 つぎに 十のくらいを くらべます。
 ()と ()で
 ()のほうが 大きいです。
 だから ()のほうが 大きいです。

⑨ あきこさんは 90+70 の計算について「この 計算は
 9+7で できるわ。」といっています。
 あきこさんの 考えを 10円玉をつかって せつめいしましょう。

〔⑧⑨考え方〕

小学校第2学年 単元別たしかめテスト7 出題のねらい及び解答例，評価の観点，目標正答率一覧

単 元 名		〔 5 1000までの数 (啓林館P66～P79)〕		〔 5 3けたの数 (東京書籍P48～P63)〕				
〈学習指導要領〉 A 数と計算		(1)数の意味や表し方について理解し，数を用いる能力を伸ばす。 ア 同じ大きさの集まりにまとめて数えたり，分類して数えたりすること。 イ 4位数までについて，十進位取り記数法による数の表し方及び数の大小や順序について理解すること。 ウ 数を十や百を単位としてみるなど，数の相対的な大きさについて理解すること。						
問題 番号	出 題 の ね ら い	解 答 例	評価の観点			問題形式		目 標 正 答 率
			考 え 方	技 能	知 識 ・ 理 解	選 択 式	短 答 式	
①	1 0 0 0の相対的な見方を理解している。	1000			○		○	90%
②	6 3 5の構成的な見方を理解している。	6, 3, 5			○		○	80%
③	2 5 0の相対的な見方を理解している。	25			○		○	90%
④	>, <の記号の使い方を理解している。	>		○			○	80%
⑤	漢数字を数字で表すことができる。	483		○			○	90%
⑥	1 0を単位とした8 0 + 5 0の計算が正しくできる。	130		○			○	90%
⑦	1 0を単位とした1 2 0 − 9 0の計算が正しくできる。	30		○			○	90%
⑧	5 3 4と5 2 7の大小を判断する根拠を筋道立てて説明することができる。	百 3 2 3 5 3 4	○				○	70%
⑨	9 0 + 7 0において，数の相対的な大きさの活用により1 0の単位（まとまり）として計算する仕方を考えることができる。	9 0は1 0円玉が9こ，7 0は1 0円玉が7こなので，1 0円玉が9 + 7と考えて計算できる。	○					○ 70%
合 計 9 問			2	4	3	0	8	1 83%

小学校第2学年
 単元別たしかめテスト
 8

単元名〔かさ（啓林館）〕〔水のかさのたんい（東京書籍）〕	①～④ (/ 4)	⑤⑥ (/ 2)	⑦～⑨ (/ 3)	得 点 (/ 9)
2年 () 組 () 番 名前 ()	知識・理解	技能	考え方	

○ () にあてはまる数をかきましょう。

① 1L = () dL

② 1L = () mL

○ □にあてはまるかさのたんいをかきましょう。

③ ペットボトルに入ったお茶

500

④ バケツに入った水

6

〔①～④知識・理解〕

○ 次の計算をしましょう。

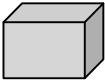
⑤ 3L7dL + 4L2dL =

⑥ 2L - 6dL =

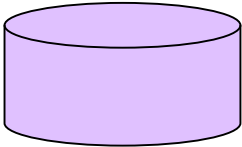
〔⑤⑥技能〕

○ 200mL 入りのカップで、ア、イの入れものに入る水のかさをしらべました。アには3ばいと半分、イには10ばいの水が入りました。

ア



イ



⑦ ア、イの入れものに入る水のかさをかきましょう。

ア () イ ()

⑧ アとイに入る水のかさのちがいは、何L 何mL でしょう。

()

○ 次のもんだいにこたえましょう。

⑨ あきこさんとただしさんが、水とうのかさくらべをします。どちらの水とうのかさがどれだけ大きいかをしらべるには、どのようにくらべかたがよいでしょう。



〔⑦～⑨考え方〕

小学校第2学年 単元別確認テスト8 出題のねらい及び解答例、評価の観点、目標正答率一覧

単 元 名		〔 6 かさ（啓林館 P82～P89）〕〔 6 水のかさのたんい（東京書籍 P64～P72）〕							
〈学習指導要領〉 B 量と測定		(2) 体積について単位と測定の意味を理解し、体積の測定ができるようにする。 ア 体積の単位（ミリリットル（ml），デシリットル（dl），リットル（l））について知ること。							
問題 番号	出 題 の ね ら い	解 答 例	評価の観点			問題形式			目 標 正 答 率
			考 え 方	技 能	知 識 ・ 理 解	選 択 式	短 答 式	記 述 式	
①	リットル（l）とデシリットル（dl）の関係を理解している。	10			○		○		90%
②	リットル（l）とミリリットル（ml）の関係を理解している。	1000			○		○		90%
③	容器に入るお茶のかさの量感をもとにして、適切な単位を選ぶことができる。	mL			○		○		80%
④	容器に入る水のかさの量感をもとにして、適切な単位を選ぶことができる。	L			○		○		80%
⑤	かさの加法ができる。	7 L 9 dL		○			○		90%
⑥	かさの減法ができる。	1 L 4 dL		○			○		90%
⑦	2 0 0 ml カップの何杯分かをもとに、容器に入る水のかさを考えることができる。	ア 7 0 0 mL イ 2 L（2 0 0 0 mL）	○				○		70%
⑧	問いからかさの減法であることを判断し、条件に合うかさの単位で答えを考えることができる。	1 L 3 0 0 mL	○				○		70%
⑨	容器に入る水のかさを、基準となるます（カップ）を使ってはかる方法を考えることができる。	（例） 同じ（1 dl カップのような）入れ物を使って、それぞれの水とうに何杯水が入るかを調べて、比べる。	○					○	70%
合 計 9 問			3	2	4	0	8	1	81%